

体操の世界選手権第5日は6日、カナダのモントリオールで女子個人総合決勝が行われ、リオデジャネイロ五輪代表で予選1位の村上茉愛（21）（日体大）は計54・699点で4位になり、2015年の6位に続き、2大会連続の入賞を果たした。（読賣新聞の掲載から）

惜しかった…。残念な思いもあるかもしれませんが、4位入賞というすばらしい結果でした。

次の目標での活躍を祈り、これからも応援しています。

*こちらから [武蔵野東学園ホームページ](#) へ